

【研究に関する情報】

研究課題名	胃瘻造設術後に噴門形成術が必要になった症例の検討
研究責任者	<所属(診療科等)> 診療部 小児外科 <職名・氏名> 部長 高見澤滋
研究期間	2022年12月19日(倫理委員会承認日)～2023年3月31日
研究の目的	胃瘻造設術後に胃食道逆流症が顕在化して噴門形成術が行われた患児において、胃瘻造設後に胃食道逆流症が増悪する要因を明らかにすることを目的とします。
研究の方法	<対象となる患者さん> 2009年1月1日～2021年12月31日の間に摂食障害に対して胃瘻造設術を行った患者さんが対象です。 <利用する情報> 長野県立こども病院の診療録に記載されている情報 <利用する者の範囲> 情報は、長野県立こども病院 小児外科で利用します。
問い合わせ先	この研究への参加は任意です。あなたの自由な意思が尊重されます。上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は、下記へご連絡ください。 なお、研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、情報を特定の個人を識別することができないように加工している場合は、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。 <研究責任者> 長野県立こども病院 小児外科 部長 高見澤滋 〒399-8288 長野県安曇野市豊科 3100 電話：0263-73-6700(代) 臨床研究支援室 ファックス：(0263) 73-5432